【ローマ人への手紙4章】

「彼は望みえない時に望みを抱いて信じました。
～それが彼の義とみなされたのです。」
（4：18～22）

「あらゆる国の人々の父とした。」と言われるほどのアブラハムは、信仰の父として、大いなる祝福を受けた人ですから、どんなに素晴らしい人だったかと思われるかと思います。しかし彼の人生にも失敗があったのです。
　創世記12章では、彼は召命を受けて、生まれ故郷を出発し、飢饉の為にエジプトに下った時、自分の妻のサライが美しいのを見て、自分が殺されるのを防ぐために、妻ではなく妹だと言っておくれと頼みます。なんという頼りない弱虫でしょう。　　　また創世記15章では、神は子供のいないアブラハムに天の星ほどの子孫を与えると祝福を約束し、彼はそれを信じました。しかし妻のサライは彼に子供を産めないのを知って、自分の奴隷ハガルを夫アブラハムに差し出し子を設けたのです。その後彼女にもイサクが与えられます。　それでハガルとアブラハムの間にできた子イシュマエルは追い出されてしまいます。(創16)イサクの子孫がユダヤ人の先祖、サライの女奴隷ハガルの産んだ子供イシュマエルがアラブ人の先祖とされています。現在の中東戦争はユダヤ人の作ったイスラエルとアラブ人が作ったアラブ国家との戦いです。アブラハムが、妻サライの言葉を「はいはい」と聞かなければ、今の中東戦争も起こらなかった事になるのです。アブラハムはなんという大失敗をしたことでしょう！また創20章では、ゲラルでも再びサラを妹と言って、王アビメレクから忠告を受けた時も、言い訳をしています。なんという恥さらしな事をしたでしょう。
　アブラハムは失敗をしながらも(どんなに悔い改めたでしょう。)、神の試練に会いながら、神の愛の言葉を決して放すことはありませんでした。およそ100才になって、子供を持てるような体ではない時にもその信仰は薄れず、またやっと与えられたイサクを捧げなさいと言われた時も、彼は約束を信じ続けました。神には約束されたことを成就する力があることを固く信じました。それが彼の義とみなされたのです。
　私達も、自分の失敗、弱さを見ることなく、(それはそれでしっかり悔い改めて)なおなお神の愛の言葉を信じ続けるものとなりましょう。またその信仰を持てるように、神様に祈りましょう。あなたの信仰は素晴らしいと言っていただけるほどの！！

「神の言葉がその通りになるまで、主の言葉は彼を試した。」詩篇105：19
「私の口から出る私の言葉も、空しく私の所に帰っては来ない。必ず、私の望むことを成し遂げ、私の言い送ったことを成功させる。」(イザヤ55：11)
「私の言葉を実現しようと、私は見張っているからだ。」(エレミヤ1：12)

＊皆様のお手荷物・貴重品等には十分ご注意下さい。
教会内での紛失や盗難等については一切責任を負いかねます。

TLCCC FRH
天に登録されている長子たちの教会
Church of the Firstborn who are Registered in Heaven
主任牧師：イエス・キリスト
牧師：ダニエル大重

SHILOAM
【遣わされた者】

2011.9.25　No.650

今年のみ言葉　歴代士Ⅱ 20：14～22、特に15節
「あなたがたはこのおびただしい大軍のゆえに恐れてはならない。
気落ちしてはならない。
この戦いはあなた方の戦いではなく、神の戦いであるから。」

アブラハムが見た星！？

主の十字架クリスチャンセンター(TLCCC)
The Lord's Cross Christian Center
http://astone-blog.jp/tlcccfrh/